

2022年度収支決算が、去る7月の組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

健康保険

2022年度の健康保険の決算は、健康保険料率9.2%を据え置き、繰入金を除く単年度収支差で▲785百万円の計画に対し▲717百万円の決算となりました。

基礎数値

◆健康保険料率

項目	決算数値
事業主	5.523%
被保険者	3.677%
保険料率合計 (調整保険料含む)	9.2%

※2018年度から変更なし。

◆平均加入者数

項目	決算数値	前年比
従業員	被保険者	21,656人 ▲11人
	被扶養者	22,592人 ▲960人
特退	被保険者	849人 ▲247人
	被扶養者	734人 ▲238人

◆平均標準報酬月額

項目	決算数値	前年比
従業員	429,986円	+ 5,523円
特退	407,113円	+ 28,916円

◆一般勘定(全体)収支◆

単年度収支差引額 ▲717百万円

繰入金を除いた収入合計から支出合計を差し引いた額
計画差+68百万円

保険料収入
13,529百万円

みなさまと会社から納めていただく保険料

計画差▲185百万円
賞与保険料の減少

事業収入・他
696百万円

健診事業収入や国からの補助金など

計画差+365百万円
国庫補助金の増加など

繰入金
2,000百万円

過去に蓄えた積立金を取り崩して補填

保険給付費

7,653百万円

みなさまの医療費や出産手当金などの法定給付費、シャープ健保独自の付加給付など

計画差+249百万円
受診件数の増加など

納付金

6,331百万円

高齢者の医療制度を支えるために国へ納付する負担金

計画差▲68百万円
厚労省通知に基づく

保健事業費・他

957百万円

健診や健康づくりのための費用、事業運営費用など

計画差▲69百万円
人件費減少など

収入合計 16,225百万円

支出合計 14,941百万円

※端数処理をしているため合計が一致しない場合があります

介護保険

2022年度の介護保険の決算は、介護保険料率1.7%を据え置き、繰入金を除く単年度収支差で+68百万円の計画に対し▲1百万円の決算となりました。

健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(健保連)が発表した「令和5年度健康保険組合予算編成状況—早期集計結果(概要)について—」によると、健保組合全体の経常収支は▲5,623億円で、過去最大の赤字を見込むことがわかりました。

コロナ禍の受診控えで一時的に減少した2020年度以降、上昇傾向が続いている医療費と、団塊の世代が75歳に到達しはじめたことで、後期高齢者支援金が急増している納付金が赤字の要因となっています。

収支改善策の取り組みについて

今後、団塊の世代が75歳以上の高齢者となる2025年度までは、国への納付金などが急増すると見込まれています。

このため健保財政の危機的状況が見込まれており、当組合も例外ではなく、さらなる収支改善策が求められることから、対策の検討を進めてまいります。